留学体験記

From Taiwan



土屋 歩加

農学生命科学部4年

中国文化大学（台湾）
2025/9月～2026年6月
協定校への長期留学





授業について

履修した科目

① 日語翻譯（日譯中）

時間数：2時間/週（2単位）

日本語を中国語へ翻訳する授業。
日本語と中国語の表現の違いや文法を学び、
自然な翻訳ができるよう練習した。
予習では文章を読んで意味を確認し、復習では
先生の解説をもとに訳し方を見直した。
テストは事前の小テストの中から出される。
日本人の先生がよく助けてくれました。





③ 中文朗讀訓練

時間数：2時間/週（2単位）

中国語の文章を、正しい発音や
イントネーションで読む練習を行った。
授業では音読や発音指導が中心だった。
毎時間読む原稿があり、先生の前で発表する。
復習では繰り返し音読して練習した。

② 中級中文會話

時間数：2時間/週（2単位）

日常生活で使う中国語の会話表現。
授業では発表を行い、会話力を高めた。
教科書はなかった。





④ 中級中文語法應用

時間数：2時間/週（2単位）

中国語の文法を学び、会話や作文で使える
よう練習した。
予習では教科書を読み、復習では例文を
作成して文法を定着させた。

⑤　初級中文語法

時間数：2時間/週（2単位）

中国語の基本文法や語順を学んだ。
授業で学んだ内容を使って練習問題に取り組み、復習では例文を繰り返し確認した。
テストは先生との会話テストで期末のみ。





⑥　初級中文寫作

時間数：2時間/週（2単位）

中国語で短い文章や作文を書く授業。漫画を見ながら説明を書いたり、『三匹の子豚』など童話の中国語を自由に書いて先生から添削を受けた。復習では添削内容を見直し、書き直した。
授業で学んだ内容を文章で書くテストでは、資料の持ち込みが可能だった。

学習面で困ったことや、辛かったことの解決方法は？

最初は先生の話す中国語のスピードが速く、授業についていくのが大変でした。
特に発音にも苦労しましたが、分からないことは友達や先生に質問し、毎日少しずつ中国語に触れて少しずつ慣れていきました。



授業内容を理解するため心がけていたことは？

分からない単語はそのままにせず、その日のうちに調べるようにしていました。
また、授業中は先生の話をよく聞き、分からないことは友達や先生に聞きに行くようにしてました。

生活

渡航直後必要だったもの

- SIMカード（最初はeSIMを利用）
- 常備薬

持参すべきだったもの

- モバイルバッテリー
- 折りたたみ傘

その他の持ち物について

薬は日本から持って行くのが安心です。
絶対に飲む瞬間がきます。
日用品は台湾でも購入できるため、たくさん持って行く必要はありません。
到着初日は買い物に行けない可能性もあるので、使い捨ての衛生用品やタオルなど、すぐに使うものは日本から持って行くと便利です。

お金の管理、現金入手方法、買い物時の支払い方法は？

WISEというカードを作り、そこからお金を引き出すほか、現地でも口座を作ってお金を預けていました。
学校周辺では、まだ多くの店で現金を使うことが多いので、渡航の際に多めに換金していくことをオススメします。
貴重品については、鍵のかかるロッカーがなかったので、スーツケースに鍵をかけて保管していました。





パソコン、携帯電話、ネットの契約は？

現地で電話番号つきの使い放題SIMを契約しました。





身の安全を守るため気をつけていた事、アドバイスは？

夜遅くの一人歩きを避けることや、貴重品の管理を徹底することを心がけました。貴重品は鍵のかかるスーツケースに入れていました。出かける際は家族や友人に行き先を伝え、体調管理にも気をつけて生活していました。





医療

学内での医療サービス、大学周辺の病院について

学校付近には病院はありませんが、学校内に保健室のようなところがあるそうです。
風邪やけがなどをしたらそこを訪れてみるといいと思います。
私は留学中の通院などはありませんでした。





渡航前に必要だった健康診断や予防接種、持参した薬は？海外留学保険は？

頭痛薬、目薬、胃薬、風邪薬、虫刺され薬、虫除けを持っていきました。
保険はOSSMAの他にJAの保険に入っていました。







留学費用（円）

渡航費	200,000	交際費（外食等）	30,000 / 月
保険代	50,000	家賃	60,000 / 月
予防接種・ビザ	30,000	授業料	0
通信費（携帯等）	2,500 / 月	教科書代	10,000

※金額は個人によって異なります

合計
1,535,000

その他

おすすめ

yoyochaの芋頭奶茶。台北駅近くで、美味しくておすすめ！
金興發生活百貨。生活必需品が何でも揃う楽しいお店。




留学をしてみて…

留学は、語学力だけでなく、人としても大きく成長できる、貴重な経験でした。楽しいことだけでなく、言葉が伝わらず悔しい思いをしたり、文化の違いに戸惑うこともありましたが、その経験があったからこそ、自分から行動することの大切さや、相手を理解しようとする姿勢を学ぶことができました。

学んだこと

- 自分がどれほど努力できるのかを知れた
- 多様な価値観を受け入れる姿勢
- 自分から行動する力
- 自立心と行動力



これから留学する人は、失敗や言葉が伝わらないことを恐れずに、現地でしかできない経験をたくさんして楽しんでほしいと思います。

日本文化の紹介

日本人留学生同士で企画し、現地の学生と一緒に料理を作ったり、日本の文化を紹介したりする機会もありました。



移動・交通

台北市までバスやタクシーで約30分ほど。バスも本数があるし、学内にタクシー乗り場もあります。土日は様々なイベントが開催されていました。




学習以外の活動

日本語学科主催の交流イベントに参加し、毎週、学生と一緒に会話やゲーム楽しみました。また、学校主催のパーティーや様々なイベントには、積極的に参加したほうが楽しめると思います。学科にはサークル活動もあります。他大学から留学中の日本人学生は、日本語学科のバレーボール部に入部していました。

現地学生との交流

「學伴（学習パートナー）」という活動にも参加しました。台湾の学生と一緒に出かけたり、ご飯を食べに行ったりして、交流を深めました。




サポート

国際處の先生が留学のサポートをしてくれ、また申し込みをすれば英語と中国語を話す学生が空港でのピックアップから生活用品の買い物にも付き合ってくれます。



食べ物

学内には学食、コンビニ、郵便局があります。学校近くにもスーパーやご飯やさんが並ぶ街があるので食べものに困ることはないと思います。



